

今月のテーマ「いよいよ本番、最終アドバイス」

すべての力を出し切り それぞれの目標を達成しよう

約1年間、受験生の皆さんにさまざまな入試情報・学校情報をお伝えしてきましたが、2018年度はこれが最終号となります。ご愛読いただき心から感謝いたします。残された日々を悔いの残らないように過ごし、皆さんが最高の結果を出してくれるよう祈っています。



ys
media

【ワイズメディア】

<http://www.ysmedia.jp/>

発行／©(株)読売エージェンシー
東京都千代田区富士見2-1-12
03-5226-9915

編集協力／(株)メディアバンク

2019年 埼玉版 1月特別号

埼玉県公立高校入試直前対策 2面・3面
各教科のポイントとは？

【国語】長文読解(論説文)を攻略する。作文は得点源。
【数学】なぜそうなるか、理由説明も求められる。
【社会】記述・論述がカギ。資料読み取りにも注意。
【理科】作図・計算・理由説明など多彩な出題。
【英語】意外に多い基礎的な単語・文法の誤り。

合格祈願に行きました! 4面

受験当日持っていった良かったモノ
ランキング!!

まずは1月22日、 私立入試から

いよいよ入試本番。1月22日から私立の入試が始まります。直前2〜3日は勉強時間をやや減らし、疲労を残さないようにしよう。頭と身体の疲労をとってあげる一番の方法は睡眠です。勉強時間を減らした分、テレビやゲームの時間が増えたのでは意味がありません。いつもより30分が1時間早く寝るようにしましょう。インフルエンザの流行期に入っていますから、手洗いとうがいを励行しましょう。体調が思わしくないと感じたら、無理をせず休みましょう。無理をして長引かせるより、思い切って1日か2日休んでしまうことです。

公立第一希望の人は、私立入試1か月後が本当の勝負です。私立入試が終わると少しほっとした気分になるかもしれませんが、できるだけ短期間で、再びエンジン全開にしてください。私立入試と公立入試では、問題内容や出題・解答方式が異なります。たとえば、私立では全問マークシート方式の学校も多いですが、公立入試には記述・論述問題も多く出題されます。ただし、中学3年間で習った内容を問うという点ではまったく同じです。形式は違っても内容的には同じという問題が公立入試でも出ることも

ありません。ですから出来なかつた問題の「やり直し」は必ずやっておいってください。本番が近づいてくると、不安から、つい「あれもこれも」と手を出してしまいがちです。気持ちには分かりますが、実際のところ、曖昧あまいな知識やうろ覚えの知識は、本番でほとんど頼りになりません。本番で自分を助けてくれるのは、「十の曖昧な知識より、一の確実な知識」です。受験生に「大丈夫? 分かってる? 」と尋ねると「たぶん」とか「まあまあ」といった答えが返ってくる場合があります。これがここで言っている「曖昧な知識」です。それらを絶対に大丈夫! と言い切るまでにしておきましょう。

すべてのテストの やり直しを

直前の勉強法について一つの提案です。過去問中心の勉強になると思いますが、これにこの1年間受けてきたさまざまなテストのやり直しを付け加えるといいでしょう。これには、学校の定期テストも含まれます。これまで受けてきたテストで、あなたが出来なかつた問題。それがあなたの弱点です。テストは

曖昧な知識より 確実な知識

成績をつけたり、偏差値を出したりするだけのものではありません。あなたが克服すべき課題を覚えてくれているのです。以前に間違つた問題を本番でまた間違つたら、これほど悔しいことはありません。テストが終わるごとに復習をしてきたとは思いますが、念のため、もう一度見直しをしてみてください。

入試に敗者はいない

合格すれば勝者、不合格なら敗者。一般的にはそうでしょう。ですから、残された時間、全力を尽くして勝者になることを目指しましょう。しかし、ものごとには結果だけでなく過程プロセスも同じくらい大切なのです。これから出る結果が皆さんにとって好ましくなく、いものであったとしても、それによって過程プロセスまでもが否定されるわけではありません。なぜなら、努力の足跡は、血となり肉となり皆さんの中に残るからです。そしてそれが次の飛躍の糧(かて)となります。結果には「時の運」という要素も含まれますが、過程プロセスはすべて皆さんのものです。無題になる努力はありません。友達同士励まし合つて入試を乗り切つてもらいたいと思います。

いよいよ入試本番 がんばれ受験生!



完璧な受験勉強はありません。不安に思っているのはみんな一緒。それでも入試本番で頼れるのは自分自身だけです。今までの努力を信じ、落ちついて全力を発揮してください。がんばれ受験生! (写真:編集部撮影)

今号は県内の中学3年生向けにお届けしています。

2018年度は、全9回、5月号・6月号・7・8月合併号・9月号・10月号・11月号・12月号・本号・3月号の発行予定です。

1月22日
私立入試
スタート!

埼玉の私学は君たちを応援しています。

通信制	越谷市	武蔵野星城	☎048-987-1094
	飯能市	大川学園	☎042-971-1717
	杉戸町	志学会	☎0480-38-1810
北部地区	深谷市	正智深谷	☎048-571-1065
		東京成徳大学深谷	☎048-571-1303
	本庄市	本庄第一	☎0495-24-1331
		本庄東	☎0495-22-6351
南部地区	上尾市	秀明英光	☎048-781-8821
	伊奈町	国際学院(通信制あり)	☎048-721-5931
		栄北	☎048-723-7711

南部地区	蕨市	武南	☎048-441-6948
		浦和明の星女子	☎048-873-1160
		浦和学院	☎048-878-2101
		浦和実業学園	☎048-861-6131
		浦和ルーテル学院	☎048-711-8221
		浦和麗明	☎048-885-8625
	さいたま市	大宮開成	☎048-641-7161
		開智	☎048-794-4599
		埼玉栄	☎048-624-6488
		栄東	☎048-651-4050
		淑徳与野	☎048-840-1035

東部地区	春日部市	春日部共栄	☎048-737-7611
	加須市	開智未来	☎0280-61-2021
		花咲徳栄	☎0480-65-7181
	越谷市	叡明	☎048-990-2211
西部地区	杉戸町	獨協埼玉	☎048-977-5441
		昌平	☎0480-34-3381

川越市	川越東	☎049-235-4811
	秀明	☎049-232-6611
	城西大学付属川越	☎049-224-5665
	城北埼玉	☎049-235-3222
	東邦音楽大学附属東邦第二	☎049-235-2401
	星野	☎049-222-4488
	山村学園	☎049-225-3565

西部地区	入間市	狭山ヶ丘	☎04-2962-3844
		東野	☎04-2934-5292
		武蔵野音楽大学附属	☎04-2932-3063
	越生町	武蔵越生	☎049-292-3245
	坂戸市	山村国際	☎049-281-0221
	狭山市	秋草学園	☎04-2958-4111
		西武学園文理	☎04-2954-4080
	志木市	慶應義塾志木	☎048-471-1361
		細田学園	☎048-471-3255
	新座市	西武台	☎048-481-1701
立教新座		☎048-471-2323	
飯能市	自由の森学園	☎042-972-3131	
	聖望学園	☎042-973-1500	
東松山市	東京農業大学第三	☎0493-24-4611	
毛呂山町	埼玉平成	☎049-295-1212	
嵐山町	大妻嵐山	☎0493-62-2281	

※同一市内は50音順に表記しています

一般社団法人 埼玉県私立中学高等学校協会 TEL : 048-863-2110

埼玉県公立高校入試直前対策

各教科のポイントとは？

「易しい問題」と「難しい問題」、どう見分ける

皆さんは、テストが終わった後、「あれは難しかった」とか「あれは簡単に解けた」とか、友達同士、問題について語り合った経験があるでしょうか。

では、「易しい問題」と「難しい問題」とは、どのように区分したいのでしょうか。

「易しい」とか「難しい」というのは、いわば個人的な感想です。ある人にとって「易しい問題」であっても、別の人には「難しい問題」であったかもしれないかもしれません。何かもう少し客観的な尺度はないものでしょうか。

そこで今回、編集部では、各問題の「正答率」、「通過率」、「無答率」に注目してみることになりました。

これは毎年、公立入試学力検査実施後に県教育庁から公表されるものです（埼玉県立総合教育センターのPC用ホームページで見られます）。

「正答率」は分かると思いますが、「通過率」は耳慣れない言葉です。「正答率」が完全に正解だった人の割合を表すのに対し、「通過率」は、部分点を取った人と、その点数

を加味した数字ですが、話を単純化するためにここでは「正答率」とほぼ同じものと考えことにします。「無答率」は答えなかった人ですから、いわゆる「白紙答案」と考えてください。

さて、そうすると、「正答率」「通過率」が高い問題は「易しい問題」、それが低い問題は「難しい問題」と判定することができそうです。また、「無答率」が低い問題は「易しい問題」、それが高い問題は「難しい問題」と判定して良さそうです。ただし、一般に後半の問題ほど「無答率」が高くなる傾向があります。時間切れで解けなかったというケースが増えるからです。したがって、その点は少し注意が必要です。

学力検査で高得点を目指すには、まず「易しい問題」で確実に点数を積み上げることが必要です。その上で、「難しい問題」でも、1点でも多く積み増して行くことも重要になります。

では、さっそく各教科について前年度平成30年度のデータをもとに、何が「易しい問題」で、何が「難しい問題」であったかを検証してみることしましょう。

国語 長文読解（論説文）を攻略する。作文は得点源。

2問ある長文読解問題のうち、大問1（小説の読解）は比較的良好に出来ていますが、小問5題中3題は記述形式なので、通過率が低くなっています。

大問3（説明的文章の読解）の中に、無答率36.5%（通過率23.2%）の問題がありました。問5の内容理解と条件に応じた表現力が求められる問題です。例年大問3では、45字以上とか55字以上など、やや長めの文を書くことが求められる問題が出ています。また、使わなくてはならない語句が2語指定される場合もあります。「難しい問題」ではありますが、配点も6点と高めなので、高得点を目指す人は何とか攻略してもらいたい問題です。

大問2の問1、漢字の読み書きの中に無答率24.6%（正答率34.7%）の問題がありました。「権益」を書かせる問題です。「権」も「益」も難しい漢字ではありませんから、これが組み合わせた「権益」という言葉を知らなかった人が多かったということでしょう。大問5の作文は、苦手になっている人も多いようですが、満点

を取る人は10%以下と少ないものの、95%以上の人は必ず得点できており、通過率も約67%なので、むしろ「易しい問題」に分類していいでしょう。採点基準は県教育委員会のホームページに公表されていますが、これを見ると、「資料から読み取ったことをもとにして自分の考えが書かれていなければ、8点を減ずる」、また、「自分の体験をふまえて書かれていなければ、8点を減ずる」とあります。文字や語句の誤りがなく、指定された長さで書いたとしても、この2つの条件を満たしていないと極端な話、得点はゼロになってしまいます。その点を強く意識した練習をしておくべきでしょう。

大問4は古文の問題です。歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題が毎年出題されているので、しっかり準備しておきましょう。

■通過率が低く、無答率が高かった主な問題

問題番号	配点	内容	通過率	無答率
大問3 問4	5点	長文読解・記述 本文抜き書き	9.0%	24.4%
大問3 問5	6点	長文読解・記述 35～45字	23.2%	36.5%
大問4 問3	3点	古文・記述 10字以内	32.7%	23.7%
大問2 問1(4)	2点	漢字「権益」	34.7%	24.6%

数学 なぜそうなるか、理由説明も求められる。

学力検査問題、学校選択問題ともに平均点は40点台前半でした。この一つを取っても、数学がいかに難しい問題ぞろいだったかが分かります。この傾向は31年度も続くと考えておいたほうがいいでしょう。ただし、適切な準備をすれば、高得点も狙えますから、あきらめてはいけません。

学力検査問題では、大問4の(2)と(3)が、無答率70%を超えています。通過率もそれぞれ3.7%、0.3%ですから、ここで得点できた人はごく僅かであり、出来なくてもあまり可否には響かなかったとも言えます。

学力検査問題では、配点が高く(50点)、基本的な問題中心の大問1の出来が得点全体を左右しそうです。

大問2の(3)は、作図でしたが、通過率は6.1%と低くなっています。無答率も19.3%ですから5人に1人は白紙だったことになります。

大問2の(4)は証明問題で、通過率31.5%、無答率28.6%でした。例年証明問題では、三角形の合同・相似を証明することが求められています。30年度は円周角の定理、対頂角の性質から三角形が相似であることを示し、線分の長さの比を証明させる問題でした。

学校選択問題では、大問5(2)②が、無答率71.4%、通過率1.7%と非常に難しい問題でした。線分の長さを求める問題ですが途中の説明を書くことも求められています。無答が多かったのは、最終問題で時間が足りなかったためかもしれません。大問4の(3)も、通過率7.3%、無答率69.5%と出来が良くありません。座標平面上にある四角形の面積を求める問題でした。最近では、ただ公式や定理を暗記しただけでは解けない問題が増えています。なぜそうなるか。常にそこを意識した勉強をしておきましょう。

■通過率が低く、無答率が高かった主な問題（【学】=学校選択問題）

問題番号	配点	内容	通過率	無答率
大問4(3)	6点	関数・面積	0.3%	70.0%
【学】大問5(2)②	7点	平面図形・長さ計算	1.7%	71.4%
大問3(2)	6点	規則性・文字式	2.5%	37.0%
大問4(2)	7点	関数・比例定数	3.7%	70.3%
大問2(3)	5点	図形・作図	6.1%	19.3%
【学】大問4(3)	6点	関数・面積	7.3%	69.5%
【学】大問3(2)	6点	規則性・文字式	8.7%	49.0%
【学】大問2(2)	6点	図形・長さ計算 三平方の定理	10.6%	21.8%
大問2(1)	5点	確率	14.8%	8.1%
大問1(11)②	5点	連立方程式応用	21.8%	39.8%



創立50年首都圏名門塾の「市進学院」の教務力と
地元「埼玉県」密着40年の「進学塾サイン」の教務力が融合して、

キミの志望校合格をバックアップ!

最難関・難関公立突破講座

県立浦和クラス・浦和一女クラス・大宮クラス
川越クラス・川越女子クラス・春日部クラス

最難関クラス

熊谷クラス・熊女クラス
不動岡クラス・所沢北クラス

難関クラス

大逆転にむけて1月・2月の2ヶ月でまだ出来ることがある! お申し込みは今すぐ!

サイン・ワンの最難関・難関公立突破講座へのお申し込み・お問い合わせは



0120-385-314

受付時間/日・祝日を除く10:00～18:00 ホームページをご覧ください。www.g-sign-1.com

サインワン 検索



市進学院 + サイン
進学塾 サイン・ワン

最難関公立突破講座 HP



スマホからご覧いただけます

社会 記述・論述がカギ。資料読み取りにも注意。

社会は極端に通過率が低い問題や極端に無答率が高い問題は見当たりません。

30年度でもっとも無答率が高かったのは大問4の問3で25.7%でした。通過率も21.3%なので難しい問題だったと言えるでしょう。これは、初の本格的政党内閣と言われる原敬内閣の特色を、その所属政党を答えた上で説明させる問題でした。いわゆる論述問題です。

社会の小問数は34問でしたが、そのうち27問は配点が2点または3点です。4点・5点の問題はいずれも論述問題なので、その攻略が高得点を取れるかどうかのカギとなります。

通過率をもっとも低かったのは大問4の問1(年代の並べ替え)でした。記号で答える問題であったので無答は0%でしたが通過率は16.8%でした。年号を暗記しているかどうかではなく、自由民権運動から帝国議会開設にいたる歴史の流れをしっかり理解できているかどうかを試された問題でした。年代の並べ替えは毎年出ています。

理科 作図・計算・理由説明など多彩な出題

理科は大問5つで構成されており、大問2は地学と言われる分野からの出題になっています。以下、大問3が生物、大問4が化学、大問5が物理からとなっており、配点は均等に20点です。極端に苦手な分野がある人は克服に努めましょう。

大問1は、4つの分野からの基礎的な問題で、配点は20点です。記号選択問題も多く、いわゆる知識問題が主なので、30年度も通過率が40%を下回る問題はありませんでした。大問1で確実に点数を積み上げたいところ。

通過率から見ると、22.1%だった大問5・問3(2)がもっとも難しかったと言えます。例年大問5は通過率の低い問題が多く、30年度も小問6題中、通過率が50%を超えたのは1問だけでした。30年度は「電流とその利用」からの出題でしたが、過去のデータから31年度は「身近な物理現象」がねられる可能性があるので光や音などの知識を押さえておきましょう。

大問2(地学)では、問4が通過率39.2%とあまり出来が良くありませんで

大問1の地理に、資料読み取り問題がありました(問5)。記号選択ですが、「正しいものをすべて選ぶ」という解答方式であったため、通過率は47.6%に止まっています。資料読み取り問題は、知識の有無はあまり関係ありません。広い意味での読解力が試されています。特に事前に覚えておく内容がないからと軽く考えている人もいるようですが、「割合」と「量」と、それらの「変化」に着目して瞬時に正解を導くには、日頃の練習が必要になります。

例年のことですが、分野別では歴史の通過率がやや低い傾向があります。特に明治から現代までを出題範囲とする大問4の出来があまり良くありません。第二次大戦以降では、「戦後改革」、「独立の回復」、「冷戦」、「高度経済成長」などの理解が主に試されています。

■通過率が低く、無答率が高かった主な問題

問題番号	配点	内容	通過率	無答率
大問4 問1	3点	歴史・記号選択 年代並べ替え	16.8%	0.0%
大問4 問3	5点	歴史・記述 政党名	21.3%	25.7%
大問3 問5	5点	歴史・論述 幕府の対外政策	32.0%	19.6%
大問5 問5	4点	公民・論述 国債発行の目的	40.7%	17.6%

した。金星の見かけの大きさが変化する理由について説明させる問題でした。この分野では、30年度は「地球と宇宙」の中から月や金星に関する問題が出題されましたが、過去のデータから31年度は「天気(気象)」とその変化」から出題される可能性が高いので露点・飽和水蒸気量・雲・風・気圧・前線などの基礎知識をしっかり押さえておきましょう。

理科全般に言えることですが、理由などを説明する問題(論述問題)と、計算を要する問題の出来が芳しくありません。高得点を目指すには、こうした問題の克服が課題となります。

小問数は32問です。以前よりは少なくなっていますが、時間配分を考えないと、後半の問題にかけられる時間が少なくなります。

■通過率が低く、無答率が高かった主な問題

問題番号	配点	内容	通過率	無答率
大問5 問3(2)	3点	物理・論述 電流の向き	22.1%	11.6%
大問3 問4(2)	3点	生物・記号選択 生殖細胞	26.2%	0.2%
大問5 問3(1)	3点	物理・記号選択 電流と磁界	28.6%	2.9%
大問4 問4	5点	化学・論述 エタノール	46.8%	15.2%

英語 意外に多い基礎的な単語・文法の誤り

学力検査問題で、通過率が低く無答率が高い問題は、大問4の長文読解問題(会話文)に集中していました。小問8題で構成されており、合計30点という高い配点だったので、ここでの得点が全体の得点に大きく影響したと考えられます。もっとも出来が悪かったのは問3で、無答率26.3%、通過率15.1%でした。空欄に適切な英語を入れ、英文を完成させる問題でした。前置詞の誤りが多かったようです。大問4の問6・問7・問8は、いずれも通過率が20%台です。内容的には問6が並べ替えによる英文完成、問7が本文の内容について日本語で答える問題、問8が自然な会話になるように空欄に英語を書く問題でした。特に問8は無答率も37.8%と非常に高くなっています。出題パターンはほぼ一定なので、問題文(英文)を速く正確に読み取ることと、基礎的な文法事項をマスターすれば得点に結びつくでしょう。

学校選択問題で、無答率が高かったのは大問3の問7でした。本文をまとめた内容に適切な英語を書き入れる問題ですが、3問とも通過率が低く、無答率が高くなっています。まとまった長さの英文を読み、全体の内容を

理解する練習をしておかないと、これらの問題に対応できません。

大問1は、学力検査問題、学校選択問題ともに放送を聞いて答える問題(リスニング問題)です。無答率は低く、通過率もおおむね高めですが、中には通過率30%台の問題もあります。読まれる英文はそれほど難しいものではありませんが、ネイティブの発音や、スピードに慣れていないとやや苦戦するかもしれません。CDなどを使った練習をしておきましょう。また、必要なことを素早くメモする練習もしておくといいでしょう。

■通過率が低く、無答率が高かった主な問題(【学】=学校選択問題)

問題番号	配点	内容	通過率	無答率
【学】大問3 問7(1)	3点	長文読解 内容把握・適語補充	9.2%	39.2%
【学】大問3 問7(2)	3点	長文読解 内容把握・適語補充	12.5%	52.4%
大問4 問3	4点	長文(会話文)読解 英文完成	15.1%	26.3%
大問4 問7	4点	長文(会話文)読解 要旨・日本語	20.3%	21.8%
大問4 問8	4点	長文(会話文)読解 英文完成	24.3%	37.8%
大問3 問4	4点	長文(会話文)読解 適語補充	29.1%	28.3%

ラスト1ヶ月の大逆転! プロ家庭教師

埼玉県公立高校入試直前短期集中指導受付中!



教育相談を受けられた
受験生の方に
「落ちないファイル」
をプレゼント!!

- ・アルバイトの大学生は一人もいません。
- ・県内どこにお住まいでも指導します。
- ・一人の先生が5教科を指導します。
- ・高校入試専門のプロ家庭教師です。
- ・公立「学校選択問題」にも対応。

リーズナブルな月謝!!

お電話でお問い合わせいただくか、
ホームページで確認してください。



2月28日の学力検査5教科で結果を出します(2月18日まで受付)

県内私立3月入試校対策も行います

教材販売なし、電話・DM勧誘なし、解約金なし

PTSプロ家庭教師さいたま

0120-200-506

□さいたま市北区宮原町2-51-40 □熊谷市銀座5-7-35
☎048-654-0506 ☎048-523-0230

詳しくはこちら **プロ家庭教師さいたま** **検索**



先輩に聞きました!! 受験当日持っていて 良かったモノ ランキング!!

受験当日は、受験票、筆記用具など学校指定の持ち物はもちろんですが、それ以外のアイテムで、持っていて良かった、持って行けばよかったと感じたものを、受験を乗り越えた先輩達にアンケートをとり、集計いたしました。（回答101件、複数回答あり）

第1位 24件 カイロ（寒さ対策グッズ）

「手が冷えないようにカイロを持って行きました。自分の体調をみながら必要な物を選ぶと良いですよ! 備えあれば憂いなし。」

受験当日は寒い季節。会場は暖かいですが、寒さを感じる席に当たってしまうことも。そんな時ちょっと暖をとれるものを持っていくと良いようです。カイロ以外にもマフラー、ベストなど寒くなったら身につけられるものが多くリストアップされました。厚着になりすぎてもダメなようですが、体温調整できる準備はあったほうが良さそうです。

第2位 18件 時計（腕時計）

「時計、特に腕時計は持っていくべきだと思います。腕から外して机の上に置いておくとも視界に入るので時間の確認がしやすいです。」

試験会場によっては時計が見えづらい場所だったり、または無かったりすること。「試験中の時間配分や、余裕のある行動を行なうため」という回答もいただきました。雰囲気感に惑わされず、落ち着いて、なおかつ時間配分に気をつけて取り組みましょう。

第3位 11件 努力の証（ノート、問題集、参考書）

「使い込んだ問題集とノートを見ると、不安な気持ちが少し自信に変わりました。」

「『自分は今までこんなに勉強したんだ!』と改めて実感でき、自信に繋がりました」という声が多く届きました。自分の努力を形として見れるものがあると落ち着けそうですね。

番外

「ポケットティッシュ（8件）」、「タオル（5件）」、「鎮痛薬・腹痛薬（2件）」、etc...

合格祈願に行きました!

試験まであと少しですね。編集部では受験生の皆さんの合格祈願のために、さいたま市大宮区の氷川神社に行って絵馬を奉納して参りました。



参詣当日は「十日市（とおかまち）」と呼ばれる酉の市が開催されていました。福をかき込むという縁起物の熊手や食べ物の露店で大賑わいでした。

編集部一同、全力で皆さんの合格を祈っています。悔いの無い様、最後までがんばってください!

Next Stage

見つけてください。輝ける場所。

■今年度より、インターネットのみの出願となります。

■進学相談（要予約）時間はホームページで確認して下さい。
※スクールバスの運行はありません。

平成31年度 入学試験要項 募集定員 普通科280名

	出願期間	入学試験日
単願推薦 入学試験	平成30年 12月 17日(月)～ 平成31年 1月 9日(水)	平成31年 1月22日(火)
併願 入学試験	平成30年 12月 17日(月)～ 平成31年 1月 9日(水)	平成31年 1月22日(火)
一般 入学試験	平成30年 12月 17日(月)～ 平成31年 1月 9日(水)	平成31年 1月23日(水)
2月単願 入学試験	平成31年 1月24日(木)～ 2月 1日(金)	平成31年 2月 9日(土)
2月一般 入学試験	平成31年 1月24日(木)～ 2月 1日(金)	平成31年 2月 9日(土)
3月単願 入学試験	平成31年 3月 8日(金)	平成31年 3月 9日(土)

東京成徳大学深谷高等学校

〒366-0810 深谷市宿根559 TEL048-571-1303 FAX048-572-1791

難関大学をめざす
特進Sコース(40名)

有名私立大学をめざす
進学選抜コース(80名)

学校推薦型・
総合型選抜で大学をめざす
進学コース(160名)



お客様の本気を最大限に引き出す
KATEKYO学院

まずはお電話を

お子様の学習上の悩み、相談をお聞きします。現在の学習状況や生活面などなんでも相談してください。

教育相談（無料）

お電話の内容を参考に、志望校や成績アップの助言など、資料を用意して説明を行います。

教師人選・指導計画

教育相談の内容をもとに教師の人選を行い、学習状況の確認や今後の指導方針を話し合います。

授業開始

入会から1週間ほどで初回の指導が行われ、指導終了時に、今後の方針についてご家庭にご報告いたします。

《過去問を使って
タイムトライアル》
タイムトライアルといっ

皆さん、過去問を解いていますか？もちろん過去問を解くことは、これからの受験勉強ではもっとも重要な勉強です。ですが過去問はあくまでも過去問です。点数が良かった、悪かったからといって、一喜一憂する必要はありません。むしろ、出来ない問題があり、それに気付くことの方が合格への近道です。

でも、意識しなければならぬのは制限時間ではなく、大問一題解くのにどれぐらいかかるのかを理解することです。各大問の中で「正答率の高いもの」「獲得点が高いもの」にはしっかりと時間をかける。獲得点が高いものは、本番では最後に解く。そのために各大問にかかる時間を理解し、記録しておくことが重要です。

《過去問を解いてみよう》
皆さん、過去問を解いていますか？もちろん過去問を解くことは、これからの受験勉強ではもっとも重要な勉強です。ですが過去問はあくまでも過去問です。点数が良かった、悪かったからといって、一喜一憂する必要はありません。むしろ、出来ない問題があり、それに気付くことの方が合格への近道です。

《ミスが減らす》
焦りとミスは比例します。しかし、試験当日に緊張「焦り」は付き物です。そのために重要なのは見直し、理数系科目においては解き直しが出来るような時間的な余裕が必要になります。もし、困ったことがあれば私たちに連絡をください。スーパージニア教師が全力で皆さんを合格へ導くため、全力で応援します。お申し込み内容については、指導時間や回数、教師によりコースが50通り以上あります。個々の学力やスケジュールに合わせた、無理のない時間や回数を設定していただければ、指導する科目が多くなれば回数が増やし、得意になったら回数を減らすなど、学習状況に応じて変更が可能です。教育相談の際に月謝の面でもご相談下さい。

新年明けましておめでとうございます。中三生の皆さん受験勉強頑張っていますか？私立高校入試の本格化まであと二週間、公立高校入試まであと二ヶ月を切りました。「これまでの模試が上手くいかなかった」「通知表が思っていたより、上がらなかった」ということで受験校選びを迷っている人はいませんか？私から皆さんへのアドバイスです。

「志望校をあきらめるのはまだ早い！これからでも、得点は上がります。」
でも、意識しなければならぬのは制限時間ではなく、大問一題解くのにどれぐらいかかるのかを理解することです。各大問の中で「正答率の高いもの」「獲得点が高いもの」にはしっかりと時間をかける。獲得点が高いものは、本番では最後に解く。そのために各大問にかかる時間を理解し、記録しておくことが重要です。

志望校変更はまだ早い！
これからでも、得点は上がります。



KATEKYO学院

大宮事務局/048-649-3344(代) さいたま市大宮区宮町2-60 永見ビル2F 熊谷事務局/048-523-0100(代) 熊谷市筑波1-63 熊谷昭和ビル2F 各地域の情報満載！KATEKYOのホームページ 資料請求も受付しております <https://katekyo-group.com/area/saitama/saitama.html>

お問い合わせは 二重丸で オールナンバーワン
0120-00-1111

最寄りの教室へのご相談は直接お電話ください

埼玉県家庭教師協会

